

(Japan Skipjack tuna Society)

平成 2 9 年 度

通 常 総 会 議 案 書

*と き 平成29年7月8日(土) 11時00分～

*と ころ 気仙沼プラザホテル 「早馬」

宮城県気仙沼市柏崎 1-1

TEL : 0226-23-1313

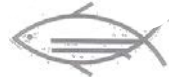
日本カツオ学会事務局

〒780-8073

高知市朝倉本町2丁目17-47 高知大学 地域連携推進センター内

TEL : 088-844-8734 FAX : 088-844-8556

E-mail : katsuo@kochi-u.ac.jp http : www.katsuo-gakkai.jp



(Japan Skipjack tuna Society)

通 常 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人指名

5. 議 事

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について P.1

第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告について P.4

第 3 号議案 役員人事等について P.6

第 4 号議案 平成 29 年度事業計画(案)について P.1 2

第 5 号議案 平成 29 年度収支予算(案)について P.1 4

第 6 号議案 その他

6. 閉 会



(Japan Skipjack tuna Society)

第1号議案

平成28年度事業報告

1. 概況報告

日本カツオ学会は、カツオに興味や関心を持つ、あらゆる人々が集い、各種の情報交換をはじめ、相互の交流と連携をもとに、調査研究を継続して行う機会、協働の図れる場づくりを目指して、産学官からなる発起人のもとに平成23年1月8日 高知県黒潮町で誕生した。

本学会は、会費収入を主たる財源としていることから、その後、徐々に発起人や関係自治体などを中心として、会員確保の活動を開始するとともに、カツオに関係する企業群にも本学会への参画について声掛けを進めて行った。

この結果、現状では（平成29年3月末）、個人会員134名、団体会員35団体、賛助会員5団体の会員登録を得るまでになっている。

「会報誌」の発行については、12月に1回発行を行った。

2. 平成28年度 カツオセミナー&フォーラム

これまでに、自治体と現場の声を反映するための「カツオフォーラム」を6回開催し、多様な関係者によるカツオに関する調査研究発表の場として「カツオセミナー」も4回開催した。

平成28年度は、7月16日(土)、高知共済会館を会場に、カツオフォーラムとカツオセミナーを融合した「平成28年度 カツオセミナー&フォーラム ～カツオ資源の管理方針を考える～」を開催した。大学教員、水産関係者、食品産業従事者等、約100名の参加者が集まり、様々な情報交換の場となった。

<プログラム>

1. 開会挨拶【13:00～13:05】

若林 良和 (日本カツオ学会 会長、愛媛大学 南予水産研究センター 副センター長)

2. 来賓挨拶【13:05～13:15】

近藤 雅宏 (高知県水産振興部 副部長)

3. 基調講演①【13:15～14:00】

「中西部太平洋におけるカツオ資源の調査研究の現状と今後」

神谷 崇 (水産庁増殖推進部 漁場資源課長)

4. 基調講演②【14:00～14:45】

「太平洋沿岸カツオ標識放流共同調査(味の素(株)・国際水研)の最近の進捗」

①国際資源管理の国際協力に向けた台湾との協働への展開

②最新型ピンガー標識を用いた生態行動の詳細把握と漁業共通インフラ化の検



(Japan Skipjack tuna Society)

討

杉本 信幸 (味の素(株) グローバルコミュニケーション部 PR・CSR グループ
シニアマネージャー)

<休憩> 【14:45～15:00】

5. 特別講演 【15:00～15:45】

「カツオと和食文化を守る」 ～未来にカツオ資源を残すために～
竹内 太一 (土佐料理 司 代表取締役社長)

6. 一般講演 【15:45～16:00】

「鰹群に命を懸けた政治家 -原耕の業績と広報について-」
福田 忠弘 (鹿児島県立短期大学 教授)

7. 総合討論 【16:00～16:45】

「カツオ資源の管理方針を考える」

- ・ 神谷 崇 水産庁 増殖推進部 漁場資源課長
 - ・ 杉本 信幸 味の素(株) グローバルコミュニケーション部 PR・CSR グループ
シニアマネージャー
 - ・ 竹内 太一 土佐料理 司 代表取締役社長、
 - ・ 若林 良和 日本カツオ学会 会長
- 司会：受田 浩之 日本カツオ学会 副会長

8. 総合討論総括 【16:45～17:00】

受田 浩之 (日本カツオ学会 副会長)

9. 閉会挨拶 【17:00～17:05】

久塚 智明 (日本カツオ学会 副会長)

4. 役員会

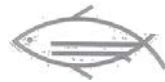
- ・ 臨時役員会 (メール会議) を平成 29 年 3 月 10 日 (金) に開催し、下記の
議案について、平成 29 年 3 月 13 日 (月) 全役員により承認された。

記

審議議案：高知カツオ県民会議第 1 回シンポジウムへの共催について

審議事由：高知県の県魚であり、地域を代表する食素材であるカツオを、
地域の誇りとして将来にわたり維持していけるよう、高知に、そ
して日本にカツオを取り戻すことを目的として、平成 29 年 2 月 9
日に「高知カツオ県民会議」が設立されました。

つきましては、来る 4 月 10 日に、高知県民はじめ県内外の方々
に、漁法や消費、食文化等さまざまな切り口から、資源としての
カツオの現状について理解を深め、守るべきカツオに対する認識



(Japan Skipjack tuna Society)

を共有いただくために、高知カツオ県民会議第1回シンポジウムが開催されます。平成29年3月9日付けで申請のあった高知カツオ県民会議第1回シンポジウムへの名義使用に係る事業への共催についてご審議をいただく。

- ・平成28年度通常役員会は、高知市にて平成29年3月30日（木）17:00から開催。

協議事項としては、

- ① 平成28年度事業報告について
- ② 平成28年度収支決算報告（見込み）について
- ③ 役員人事等について
- ④ 平成29年度事業計画(案)について
- ⑤ 平成29年度収支予算(案)について
- ⑥ その他

以上を協議し、通常総会へ諮ることとした。

5. 会報誌の発行

「会報誌」の発行は、本学会を広く広報するとともに会員確保の一助とするために、当初より計画して検討してきた。

12月の1回の発行となった。

なお、それぞれの会報誌の概要は次のとおりである。

日本カツオ学会会報（第6巻・第1号）の概要・・・12月発行

- ① 日本カツオ学会の活動方針
- ② 日本カツオ学会平成28年度通常総会開催報告
- ③ 「平成28年度カツオセミナー&フォーラム」開催報告

6. 共催・後援等

「第6回枕崎カツオマイスター検定」を計画している枕崎カツオマイスター検定推進協議会(会長：枕崎市長)から要請があり昨年に引き続き、共催した。

認定試験：平成28年11月19日（土）・20日（日）

第2号議案

平成28年度 日本カツオ学会 収支決算書

【収入の部】

単位：円

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 会費	462,000	574,000	112,000	
個人会員	132,000	114,000	△ 18,000	38件 × 3,000円 = 114,000円
団体会員	240,000	280,000	40,000	28件 × 10,000円 = 280,000円
賛助会員	90,000	180,000	90,000	6件 × 30,000円 = 180,000円
2. 雑入	23,089	9	△ 23,080	
雑入	23,089	9	△ 23,080	預金、金利他 9円
3. 繰越金	230,911	230,911	0	
前年度繰越金	230,911	230,911	0	前年度繰越し金 230,911円
合計	716,000	804,920	88,920	

【支出の部】

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 事業費	558,200	339,138	△ 219,062	
総会費	20,000	0	△ 20,000	
カツオセミナー費	200,000	131,600	△ 68,400	7/16:カツオセミナー&フォーラム講師旅費 131,600円
カツオシンポジウム費	250,000	149,338	△ 100,662	7/16:カツオセミナー&フォーラム補助金 149,338円
広報費	58,200	58,200	0	学会HP年間ランニング費用 58,200円
会報費	30,000	0	△ 30,000	
2. 事務局費	78,000	41,420	△ 36,580	
事務経費	78,000	41,420	△ 36,580	振込手数料 7,236円 会報発行に伴う通信運搬費、弔電外 34,184円
3. 予備費	79,800	0	△ 79,800	
予備費	79,800	0	△ 79,800	
合計	716,000	380,558	△ 335,442	

歳入歳出決算

【収入】

804,920 円

－

【支出】

380,558 円

=

424,362 円

を翌年度へ繰り越す。

監 査 報 告 書

平成28年度日本カツオ学会の会計監査の結果を下記のとおり報告いたします。

1 監査年月日 平成29年5月10日

2 監査結果

平成28年度日本カツオ学会の収支決算について監査したところ、会計諸帳簿・証票書類等、いずれも正確にかつ適正に処理され不都合な点を発見せず、正当なものと認めたので報告します。

平成29年5月10日

監事 二宮真弓 

監事 増崎勝敏 



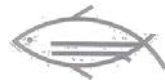
(Japan Skipjack tuna Society)

第3号議案

役員人事について

日本カツオ学会役員(任期: H29.4.1~H31.3.31)

役職名	氏名	所属	
会長	若林 良和	愛媛大学 南予水産研究センター	留任
副会長	受田 浩之	高知大学 地域連携推進センター	留任
副会長	久塚 智明	(株)FBT プランニング	留任
副会長	大西 勝也	高知県黒潮町 町長	留任
会計役	今西 文明	高知県黒潮町	新任
事務局長	吉用 武史	高知大学 地域連携推進センター	留任
運営委員	二平 章	茨城大学人文学部	留任
運営委員	片岡 千賀之	元・長崎大学	留任
運営委員	上田 不二夫	元・沖縄大学	留任
運営委員	石原 義剛	海の博物館	留任
運営委員	大海原 宏	元・東京水産大学	留任
運営委員	川島 秀一	東北大学 災害科学国際研究所	留任
運営委員	和田 俊	元・東京海洋大学	留任
運営委員	島先 陽輔	高知県黒潮町	新任
運営委員	神園 征	鹿児島県枕崎市 市長	留任
運営委員	末永 芳美	元・東京海洋大学	留任
運営委員	小倉 未基	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
運営委員	山下 秀幸	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
運営委員	今澄 誠司	(株)久原本家	新任
運営委員	森岡 克司	高知大学 農林海洋科学部	留任



(Japan Skipjack tuna Society)

運営委員	島村 智子	高知大学 農林海洋科学部	留任
運営委員	土居 幹治	マルトモ(株)	留任
監事	増崎 勝敏	大阪府立旭高等学校	留任
監事	二宮 真弓	高知県土佐清水市	新任

日本カツオ学会定款より抜粋

第3章 役員

(種類及び定数)

第12条 本会に次の役員を置く。

会長	1名
副会長	3名
会計役	1名
事務局長	1名
運営委員	若干名
監事	2名

(選任等)

第13条 役員は総会において選任する。

- 2 監事については、会員以外の者から選任することができる。
- 3 監事は、他の役員を兼ねることができない。

(職務)

第14条 省略

(任期)

第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。



(Japan Skipjack tuna Society)

企画委員・編集委員の選任について

日本カツオ学会 企画委員(任期:H29.4.1~H31.3.31)

委 員		役職名	所 属	
委員長	受田 浩之	副会長	高知大学 地域連携推進センター	留任
委員	大西 勝也	副会長	高知県黒潮町 町長	留任
委員	片岡 千賀之	運営委員	元・長崎大学	留任
委員	上田 不二夫	運営委員	元・沖縄大学	留任
委員	石原 義剛	運営委員	海の博物館	留任
委員	和田 俊	運営委員	元・東京海洋大学	留任
委員	神園 征	運営委員	鹿児島県枕崎市 市長	留任
委員	末永 芳美	運営委員	元・東京海洋大学	留任
委員	小倉 未基	運営委員	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
委員	島村 智子	運営委員	高知大学 農林海洋科学部	留任
委員	土居 幹治	運営委員	マルトモ(株)	留任

日本カツオ学会定款より抜粋

第 10 章 企画委員会

(設置等)

第 41 条 役員会のもとに企画委員会を置く。企画委員会は企画委員長及び企画委員で構成し、企画委員長がこれを代表する。

(選任等)

第 42 条 企画委員は若干名とし、役員から役員会の議を経て選任する。委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

2 企画委員長は、選任された企画委員の互選による。

(職務)

第 43 条 企画委員会は、本会の実施する事業の企画を主管する。



(Japan Skipjack tuna Society)

日本カツオ学会 編集委員(任期:H29.4.1~H31.3.31)

委 員		役職名	所 属	
委員長	川島 秀一	運営委員	東北大学 災害科学国際研究所	留任
委員	若林 良和	会長	愛媛大学 南予水産研究センター	留任
委員	久塚 智明	副会長	(株)FBT プランニング	留任
委員	二平 章	運営委員	茨城大学人文学部	留任
委員	大海原 宏	運営委員	元・東京水産大学	留任
委員	島先 陽輔	運営委員	高知県黒潮町	新任
委員	山下 秀幸	運営委員	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任
委員	森岡 克司	運営委員	高知大学 農林海洋科学部	留任

日本カツオ学会定款より抜粋

第 11 章 編集委員会

(設置等)

第 44 条 役員会のもとに編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長及び編集委員で構成する。

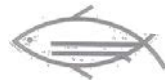
(選任等)

第 45 条 編集委員は、役員から役員会の議を経て選任する。委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

2 編集委員長は、選任された編集委員の互選による。

(職務)

第 46 条 編集委員会は、本会の発行する会誌その他の出版物の編集業務を主管する。



(Japan Skipjack tuna Society)

顧問の委嘱について

日本カツオ学会 顧問(任期: H29.4.1~H31.3.31)

役職名	氏名	所属	
顧問	宮原 正典	国立研究開発法人水産研究・教育機構	留任

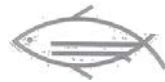
日本カツオ学会定款より抜粋

第4章 顧問

(顧問)

第 18 条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、学識経験のある者又は本会に功労のあった者の中から総会の承認を経て、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長の諮問に応じ会議に出席し、意見を述べることができる。ただし、表決に加わることはできない。
- 4 顧問は、無報酬とする。
- 5 顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。ただし、再任を妨げない。



(Japan Skipjack tuna Society)

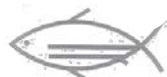
会長の交代及び顧問への就任について

【会長:交代】

旧	新	備 考
所属・氏名	所属・氏名	
国立大学法人愛媛大学 南予水産研究センター 教授 若林 良和	国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所 教授 川島 秀一	【任期】 総会開催日の翌日から、 平成 31 年 3 月 31 日まで

【顧問:新規】

所 属・氏 名	備 考
国立大学法人愛媛大学 南予水産研究センター 教授 若林 良和	【任期】 総会開催日の翌日から、 平成 31 年 3 月 31 日まで



平成29年度事業計画(案)

日本カツオ学会は、平成23年1月8日の発足以来、6年目を迎え、カツオフォーラム、カツオセミナーを開催し、カツオ学会関係者並びにカツオ産業関係者の皆様が本学会活動を通じて、カツオの資源・経済・社会・文化など多様な価値を問い直すことを念頭に、次のとおり事業展開を行う。

1. 「日本カツオ学会 平成29年度カツオセミナー ～カツオによる復興と地域づくり～」の開催

学術関係者や企業人からの情報発信の場としてのカツオセミナーを開催

- (1) 日時：平成29年7月8日(土) 13時から
- (2) 場所：気仙沼プラザホテル (〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1-1) コンベンションホール「飛天」

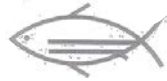
(3) 概要

- ①開会の挨拶：川島 秀一氏(日本カツオ学会 運営委員)
- ②基調講演①：若林 良和氏(愛媛大学学長特別補佐、社会共創学部副学部長)
- ③基調講演②：久塚 智明氏(株式会社FBT プランニング代表取締役)
- ④特別講演：熊谷 浩幸氏(気仙沼漁業協同組合魚市場部長)
- ⑤一般講演：西田 宏(国立水産資源研究所)
- ⑥総合討議：若林 良和氏(愛媛大学学長特別補佐、社会共創学部副学部長)
久塚 智明氏(株)FBT プランニング 代表取締役)
阿部 泰浩氏(株)阿部長商店 代表取締役社長)
小野寺 健蔵氏(有)小野健商店 代表取締役社長)
司会：受田 浩之 日本カツオ学会 副会長
- ⑦交流会：気仙沼プラザホテル ベイクリスタル

2. 「平成29年度カツオフォーラム in ○○」の開催

自治体や現場の声を反映する場としてのカツオフォーラムを開催

- (1) 日時：平成 年 月 日 (未定)
- (2) 場所：(開催候補地検討)
- (3) 概要：(これまでのカツオフォーラムの開催内容や社会情勢、当学会の状況等を考慮しながら、平成29年度開催地を決定すると共に、現地実行委員会とともに開催概要について協議する。)



(Japan skipjack tuna Society)

3. 会員の確保

地域・領域・学問・立場など様々なレベルを超えて、つむぎ合うために、全国のカツオに興味や関心を持つ多くの人に参加を呼び掛け、学会の発展を目指す。

また、年度の切り替え時期には、最も多い個人会員の人事異動などを考慮して、関係機関においては、会員の維持・確保に向けた対応を積極的に行っていく。

4. 恒常的事業

(1) 日本カツオ学会ホームページの充実

平成23年9月に立ち上げた本学会のホームページの充実を図るとともに、会員相互の情報交換の場として活用、展開していく。

また、会員相互の情報交換に加えて、社会に発信すべきカツオの価値の再認識に繋がる活動や情報等、本学会が協力する他機関の活動も含めて学会ホームページを活用した発信を適宜行う。

(2) 日本カツオ学会会報誌の発行

本学会活動を広く広報し周知を図るために、引き続き会報誌を発行する。発行回数は2回を目標とする。

(3) 役員会及び企画委員会と編集委員会の開催

必要に応じて、臨時役員会や両委員会の開催を行う。

特に、企画委員会と編集委員会にあっては、メール会議等を活用して各委員に周知を図りながら、意見集約を行い、より多くの意見が結果に反映できるように対応していく。

収入の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 会費	462,000	574,000	112,000	
個人会員	132,000	114,000	△ 18,000	38人 × 3,000円 = 114,000円
団体会員	240,000	280,000	40,000	28団体 × 10,000円 = 280,000円
賛助会員	90,000	180,000	90,000	6団体 × 30,000円 = 180,000円
2. 雑入	23,089	9	△ 23,080	
雑入	23,089	9	△ 23,080	預金、金利他(H28年度実績額)
3. 繰越金	230,911	424,362	193,451	
前年度繰越金	230,911	424,362	193,451	
合計	716,000	998,371	282,371	

支出の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 事業費	558,200	648,200	90,000	
総会費	20,000	20,000	0	平成29年6月～7月中旬開催予定
カツオセミナー費	200,000	200,000	0	平成29年6月～7月中旬開催予定
カツオシンポジウム費	250,000	350,000	100,000	フォーラム補助 350,000円
広報費	58,200	58,200	0	HP維持費 58,200円
会報費	30,000	20,000	△ 10,000	会報誌発行(10,000円×2回)
2. 事務局経費	78,000	78,000	0	
事務経費	78,000	78,000	0	通信運搬費 20,000円 監事旅費(1人分) 13,000円 土佐清水～黒潮町(1泊2日)13,000円 消耗品等 45,000円
3. 予備費	79,800	272,171	192,371	
予備費	79,800	272,171	192,371	
合計	716,000	998,371	282,371	